



正しい行動！

ハンドボールの授業を見ていた校長先生が、ハンドボールを蹴った生徒に「ボールを蹴ってはいけません。」と注意しました。注意を受けた生徒は「すみません。」と素直に謝罪してボールを蹴るのを止めました。私が中学生の頃もバレーボール、ハンドボール、バスケットボールなどのボールを授業中に蹴ったりしたら、体育の先生に烈火のごとく注意されました。ですので、授業中にバレーボールやバスケットボールなどのボールを蹴る生徒は皆無でした。

手で扱う球技のボールは、蹴ることを想定して作られてはいません。ですので、強い足の力で蹴るとボールがゆがんだり、傷んだりしてしまいます。ボールは歪んだら使えません。ですので、ハンドボールを蹴ることはしてはいけないことなのです。

スポーツをする以前に、道具を大切にすることは大事です。そのようなちょっとした配慮ができることが、チームメイトのことを気遣ったり、相手のチームを称えたりすることの原点なのだと思います。

ハンドボールのボールを蹴った瞬間に、ハンドボールの競技を否定したことにもつながります。サッカーボールを野球部が金属バットでたたいたら、サッカーボールが痛むのがわかると思います。ボールが少しでも歪めば、ボールはまっすぐに飛ばなくなって、競技で使えなくなります。「道具を正しく使う。」このことはとても大切なことだと思います。

私は大学を卒業して、逗子の久木中学校に就職しました。その年の運動会の選抜リレーで、陸上部の生徒が前の選手を抜いて1位となってゴールしました。素晴らしい走り、見ている生徒、教師、保護者も大きな拍手でエールを送りました。生徒はゴールでテープを切った瞬間に、嬉しさの感情を抑えきれずに、バトンを高く投げ上げました。それを見ていた、体育の先生（陸上部顧問）が「何、バトンを投げているんだ！陸上部なのにバトンを投げてはいけないこともわからないのか！」と大きな声で注意しました。グラウンドが静かになってその生徒は、バトンを持って「すみませんでした。」と謝罪しました。リレーはバトンが命です。投げたりすれば、割れたり傷がついたりします。まして、みんなの気持ちを繋いできたバトンを投げたことに対して注意したのだと思います。それ以後、私は十年以上久木中学校で働いていましたが、運動会でバトンを投げる生徒は一人もいませんでした。ボールは蹴らない、バトンは投げない。……スポーツの道具に限らず、清掃用具、文房具、調理器具、理科の実験機材などさまざまな道具を正しく使う。当たり前の言葉ですがとても大事なことだと思います。 よろしくお願ひします。